

製作手順書

2020年11月8日

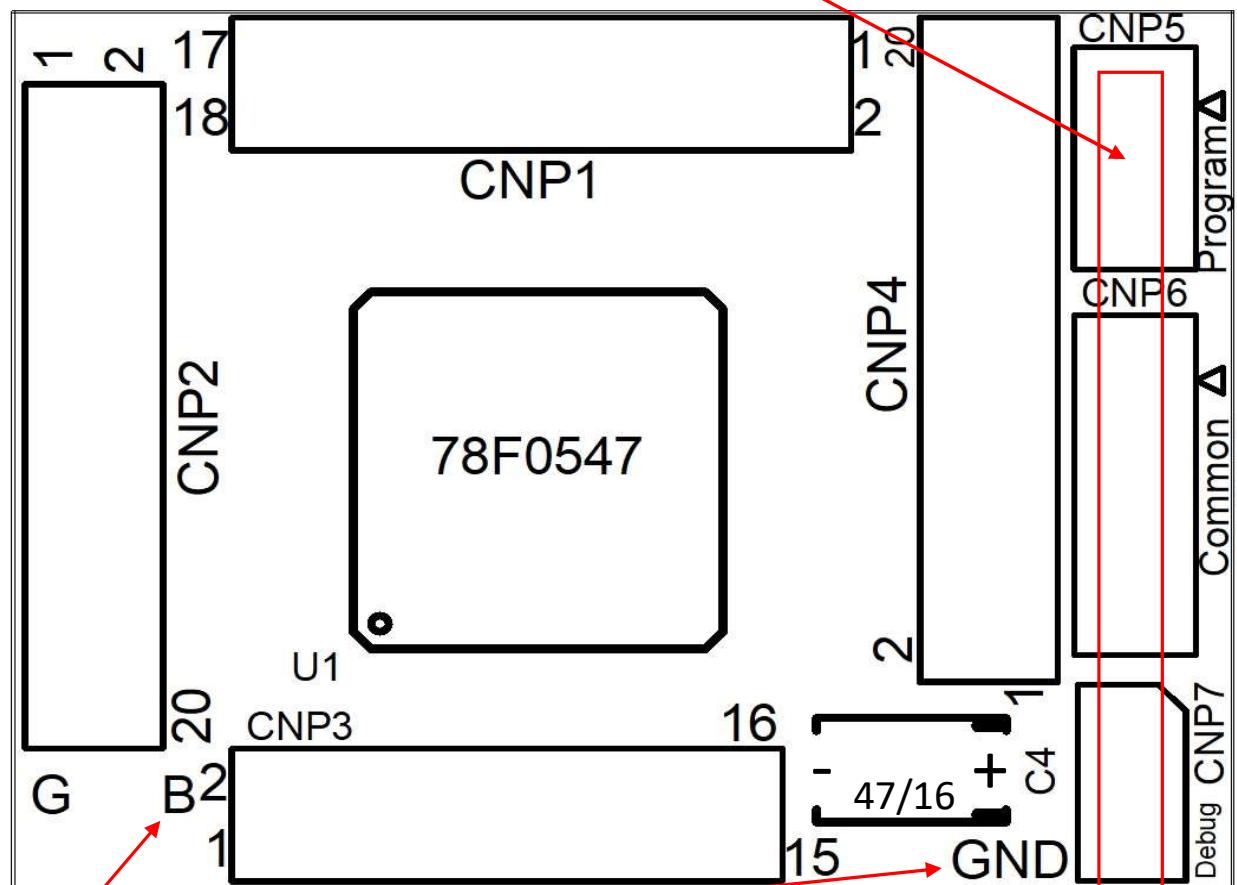
CPUユニット・Displayユニット・Mainユニットとあるが、この順番に組み上げていく。

【CPUユニットの組み上げ】

- ① 部品面の部品を装着する。

注意) CNP1～CNP4のピンヘッダはA面部品／B面部品全てを装着後に装着すること。

この3つのコネクタは装着しなくてよい。

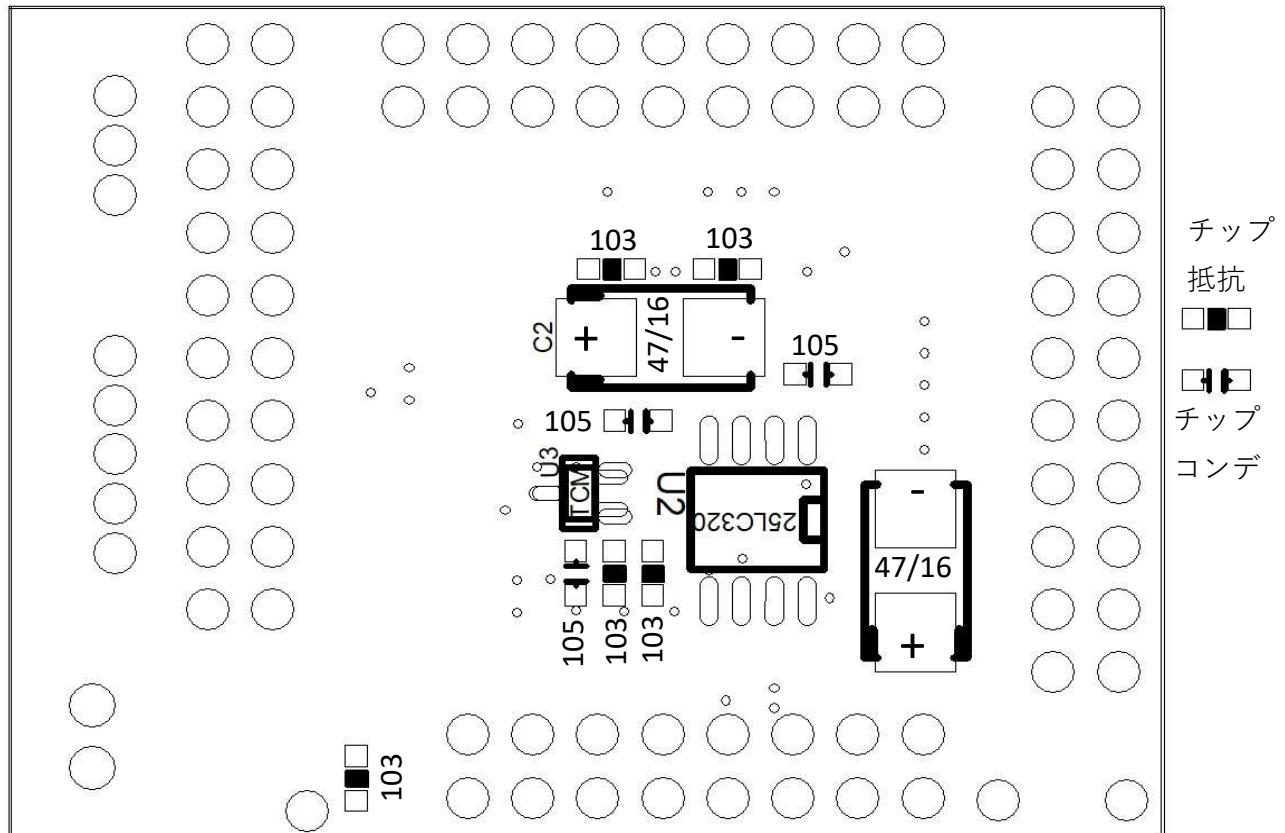


B端子とGND端子はテストピンとして装着しておくこと。

Version-Up時の電源供給端子。

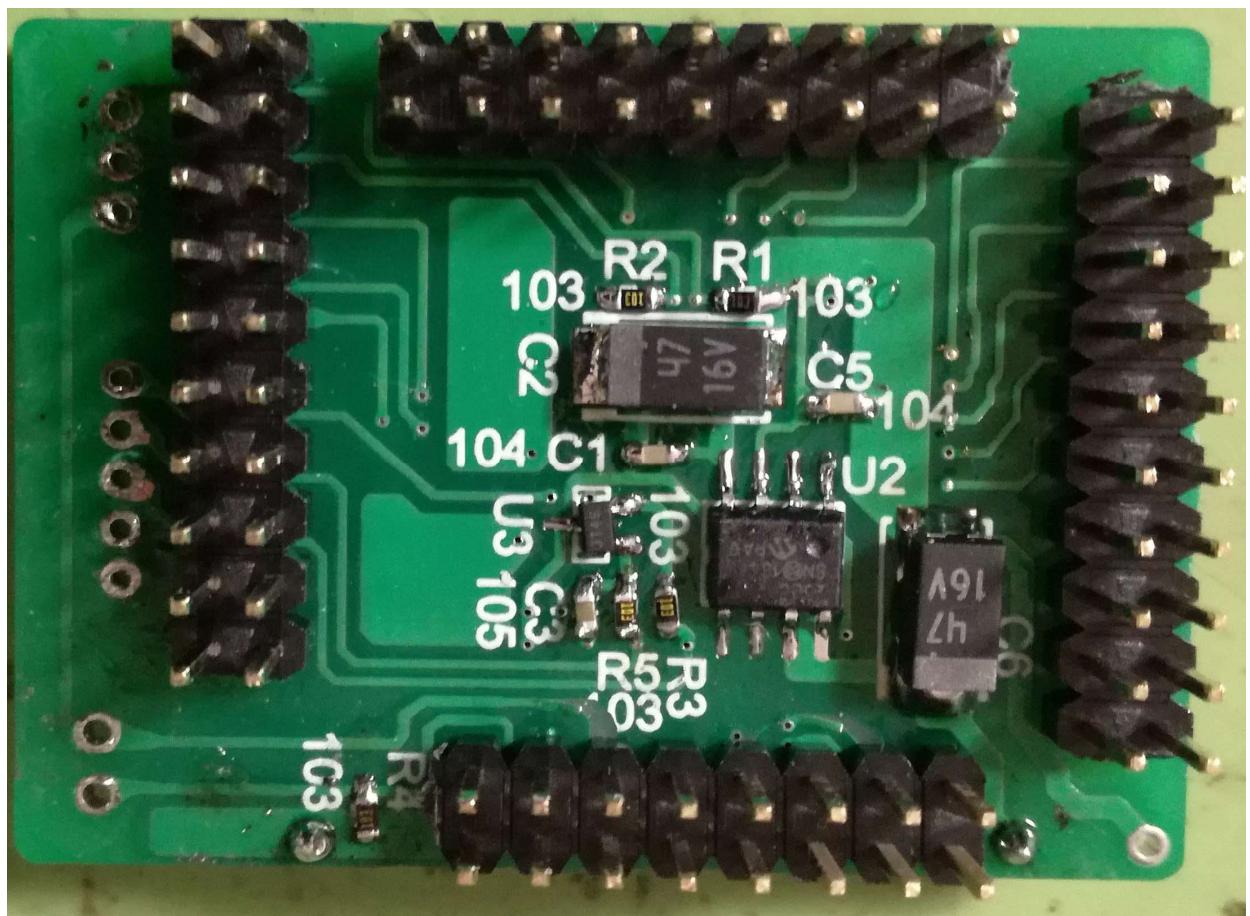


② ハンダ面の部品を装着する。



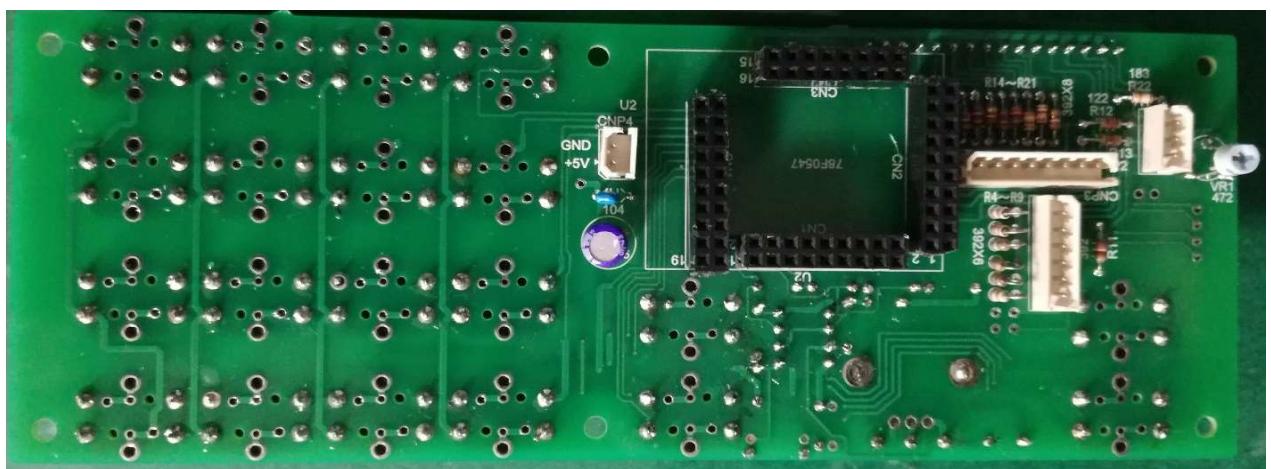
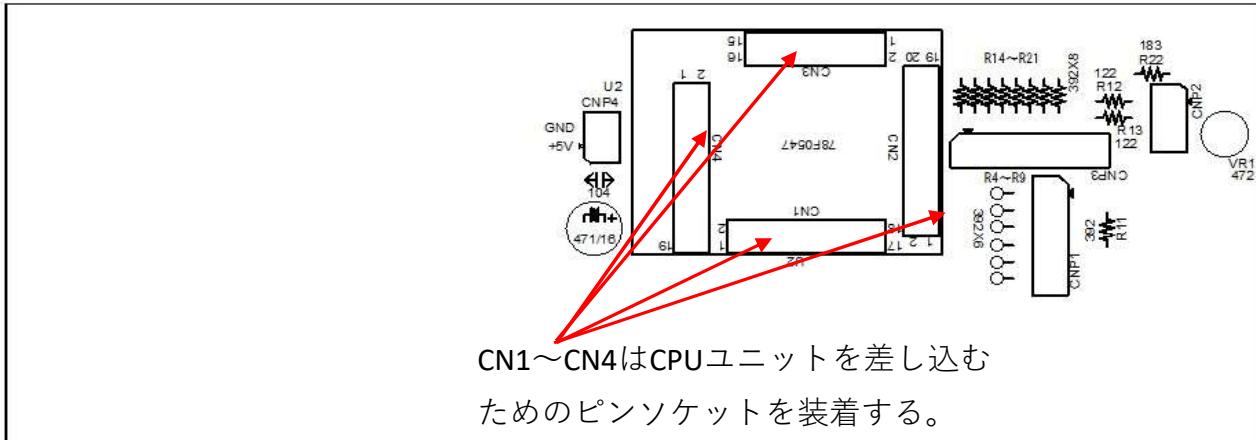
チップ抵抗 (103) = 5個

チップコンデンサー (105) = 3個



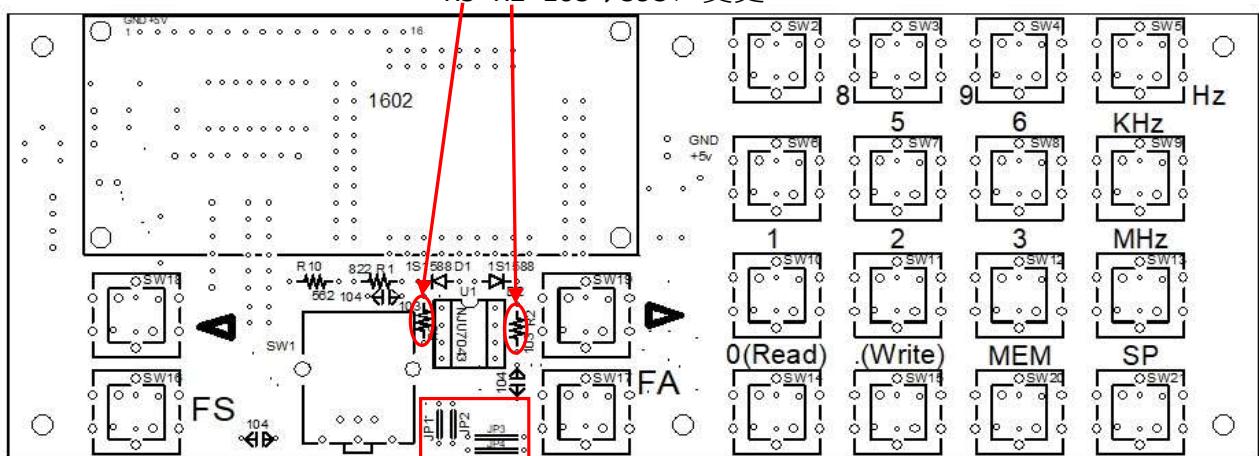
【Displayユニットの組み上げ】

- ① ハンダ面の部品を装着する。



- ② 部品面の部品を装着する。

R3=R2=103→393に変更



足ピッチの広い物 = JP2とJP4



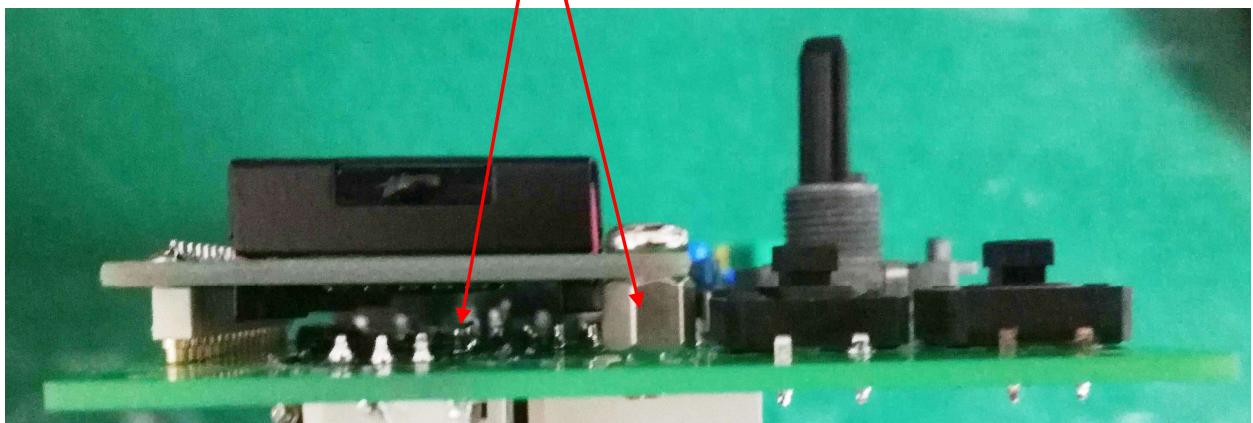
足ピッチの狭い物 = JP1とJP3





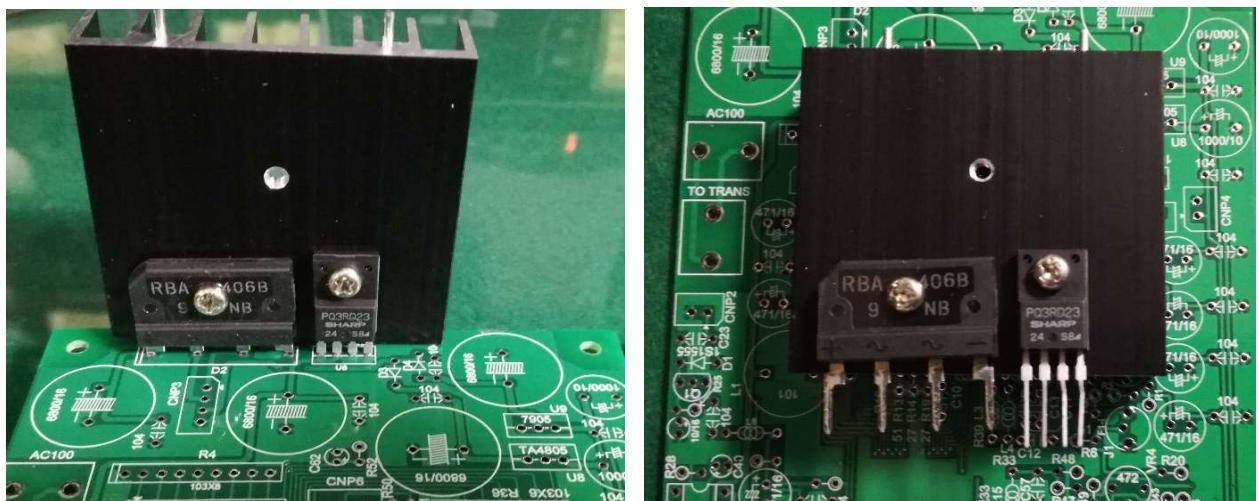
LCDの装着には注意

LCD金具とDisplayハンダ面のハンダとがタッチしない
ように5mmのスペーサーで浮かせて取り付ける。



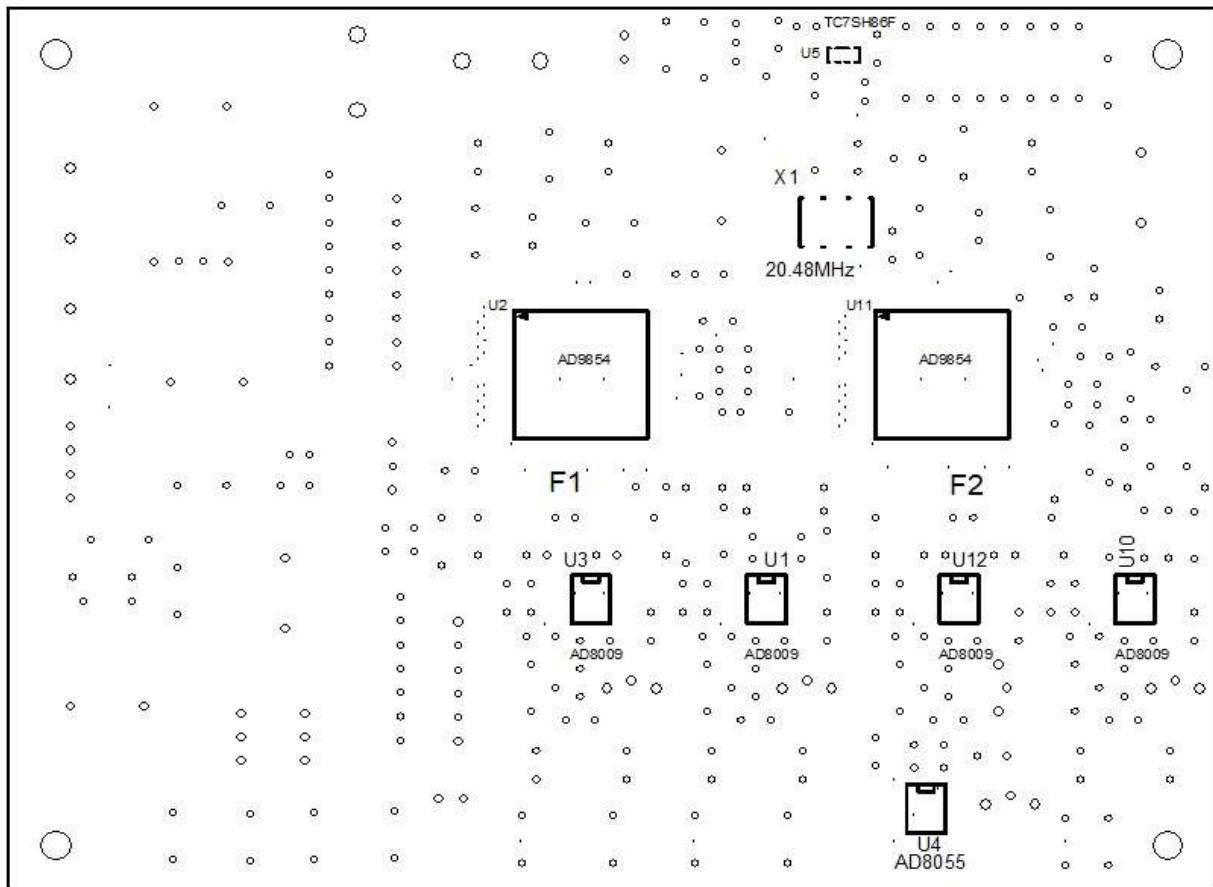
【Mainユニットの組み上げ】

- ① 基板に部品を装着する前に放熱器Assyを行っておく。ブリッジダイオードとPQ3Rを基板に仮止め（1端子だけハンダ）し、（少し浮かせた方が良い）放熱器をあてて取付穴の位置を放熱器にマーキングし、Φ2.6で穴を開けて3mmのタップをたてる。

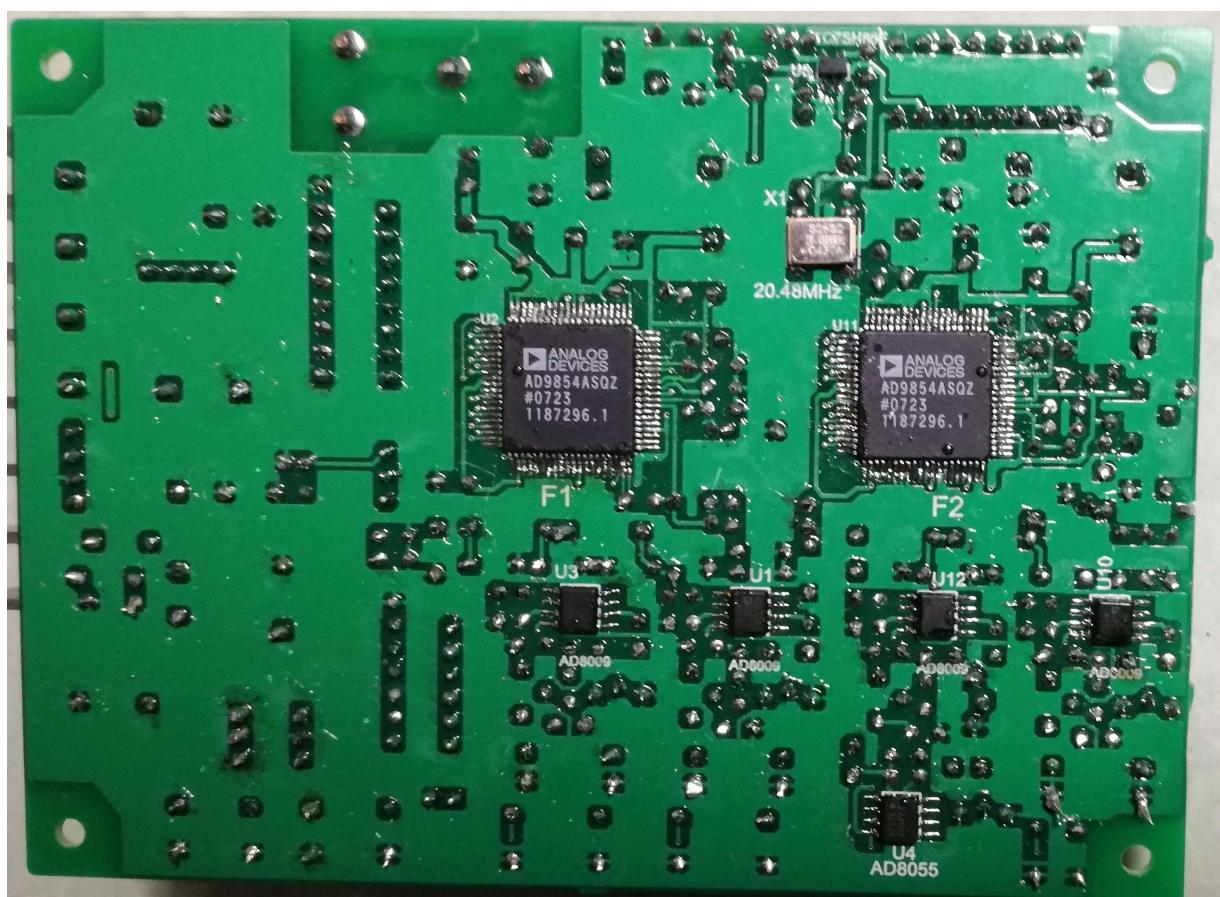


こうして放熱器Assyを加工しておき、最後に基板に取り付ける。

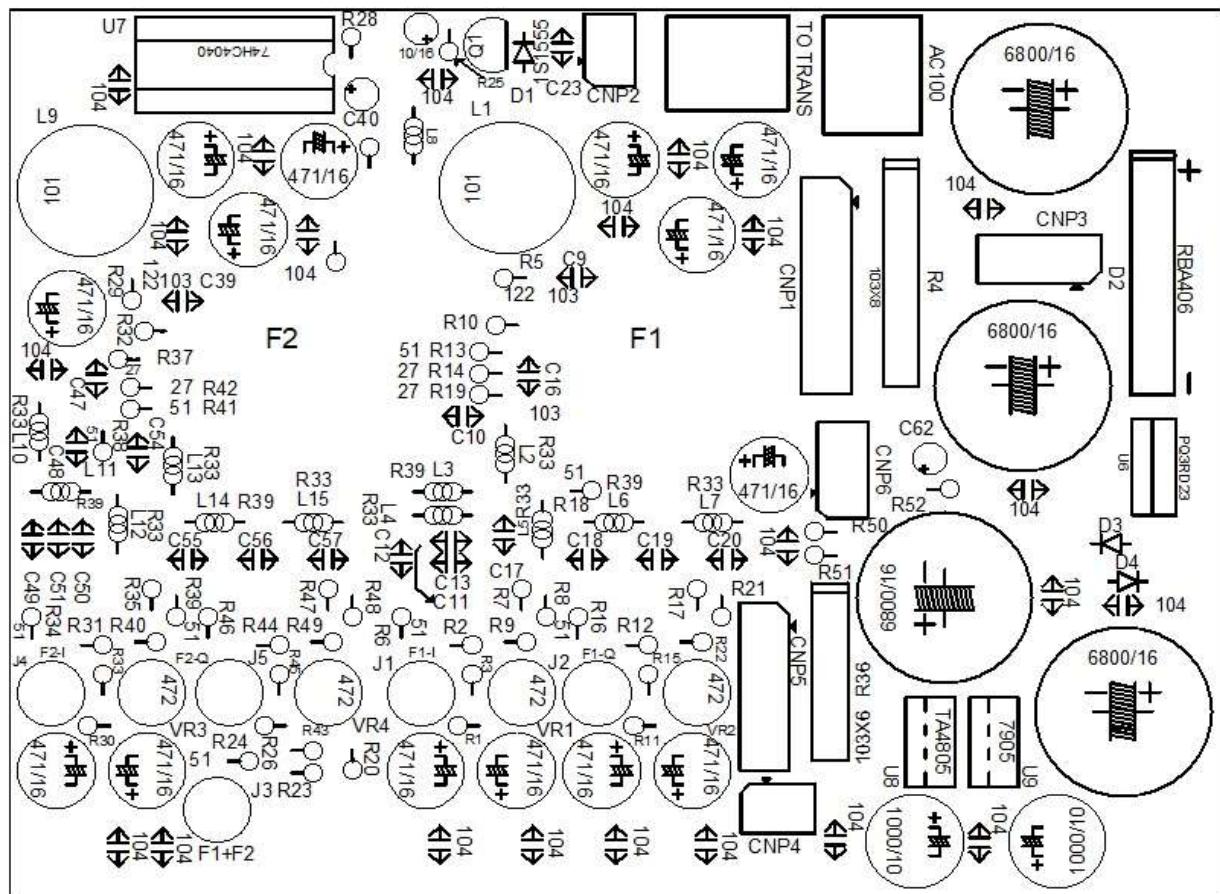
- ② 部品面の部品を装着する。



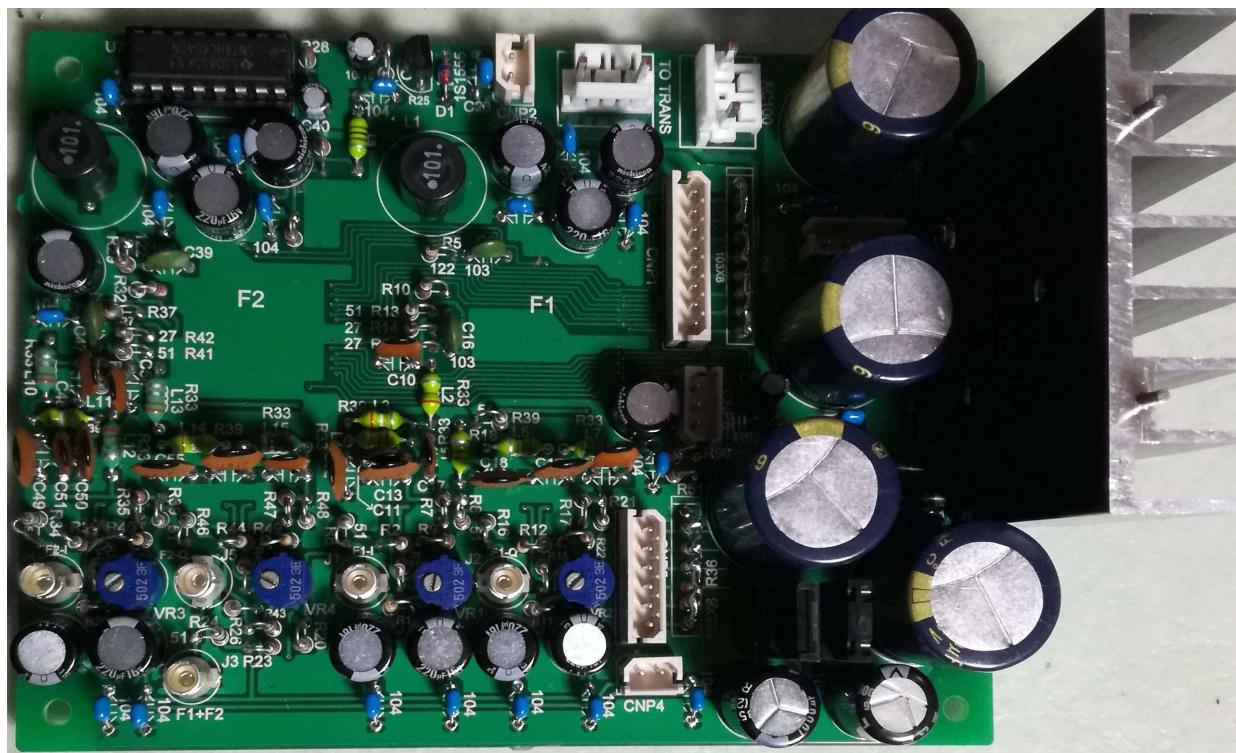
面実装部品のみの装着である。AD9854は放熱GNDへ少しのシリコングリスを塗布し、位置決めの時の固定にもなる。取付方向は文字の方向通り。



③ ハンダ面の部品を装着する。



ブリッジダイオードとPQ3R、7905、TA4805は装着しないでおく、組み上げ後3.3V、±5Vの電流値を確認すべくベンチ電源で供給するため。最後に取付ける。



注意点) ①ラウンドとラウンド間隔が狭いためハンダ時にはブリッジしないように。
 ②チョークコイルL1/L2 (101) は形状が小さく、足を広げて挿入。